

日本海地震・津波プロジェクト

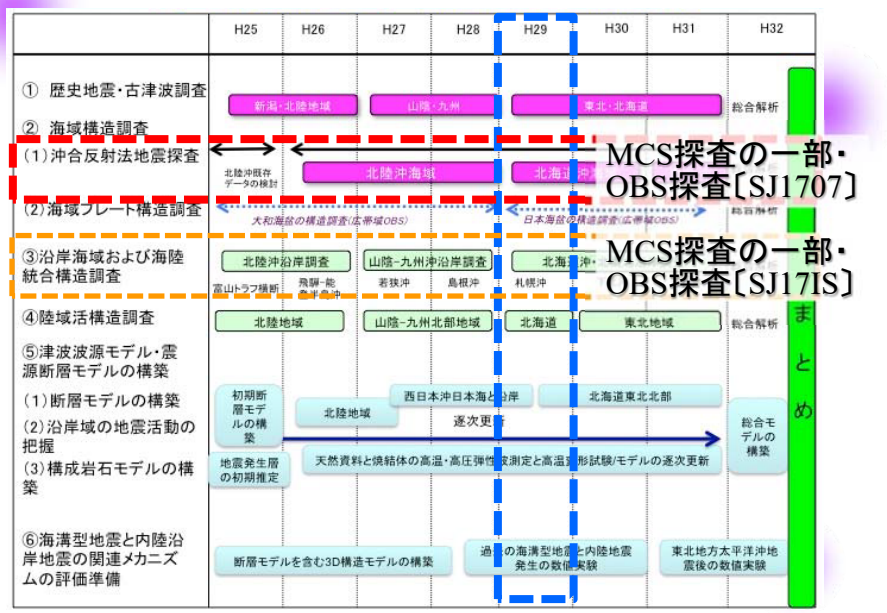
沖合構造調査

国立研究開発法人

海洋研究開発機構



沖合構造調査(線表)



平成29年度の調査 【北海道北西沖】

日29-1-2-2-1

- **調査実施期間:**
「かいめい」
2017年6月22日(小樽)
～7月11日(函館)
- 「第一開洋丸」【OBS回収】
2017年7月25日(小樽)
～7月31日(小樽)
- **調査内容[実績]:**
 - ✓ 沖合構造調査
 - ・MCS探査[白線]
 - ・OBS探査[SJ1707]
 - ✓ 沿岸調査
 - ・MCS探査[緑線]
 - ✓ 海陸統合探査(海域)[赤線]
 - ・MCS探査[SJ171S]
 - ・OBS探査[SJ171S]

本調査におけるデータ取得概要

日29-1-2-2-1

海底広域研究船
「かいめい」

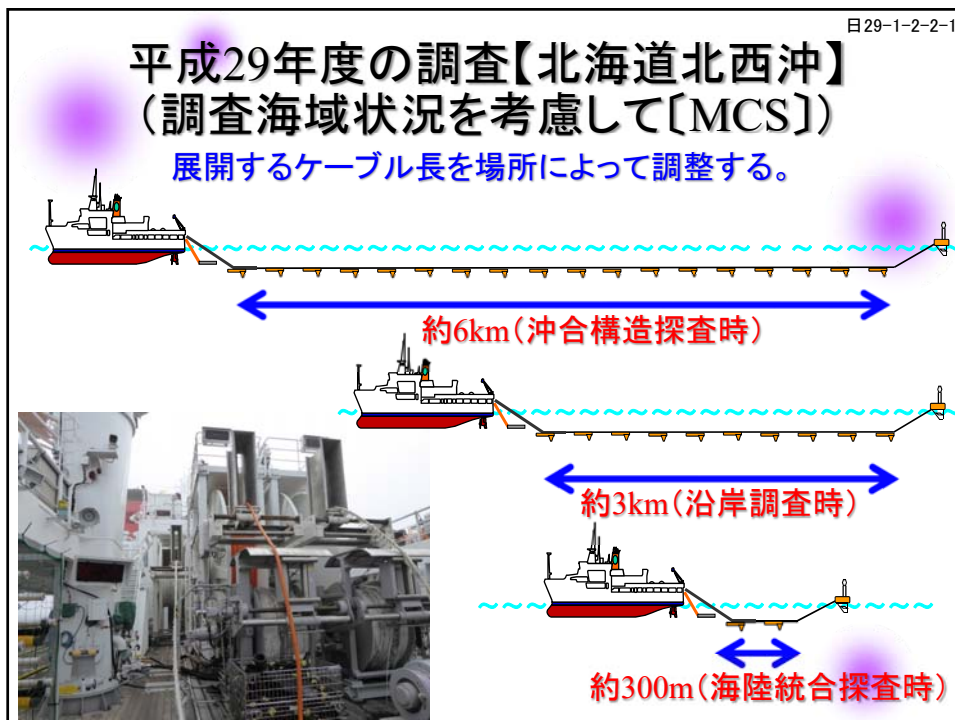
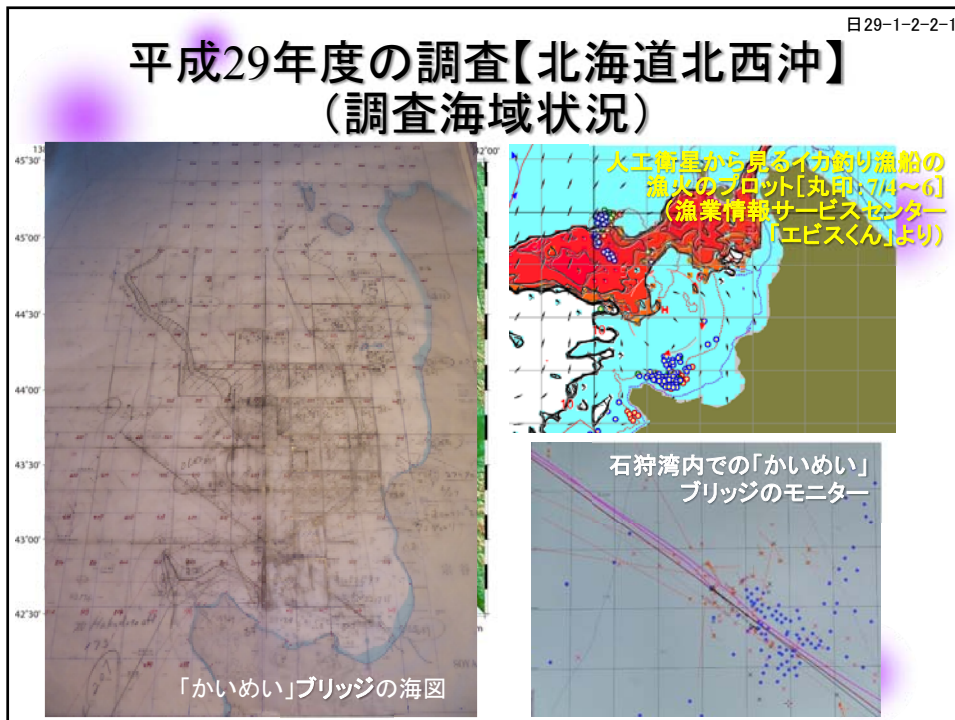
海底地震計(OBS)：計60台

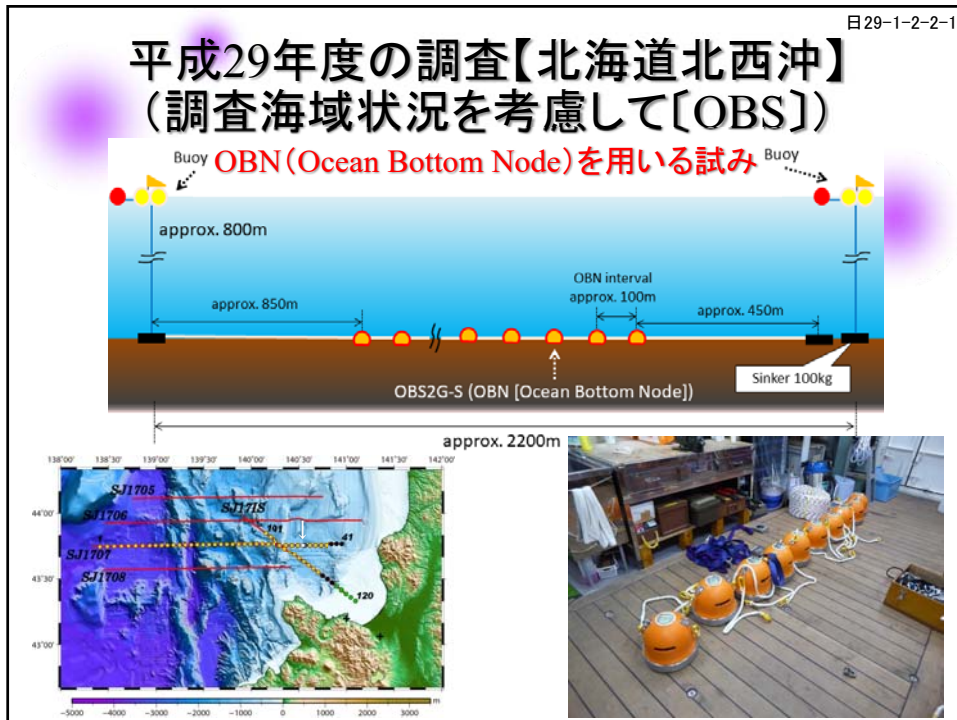
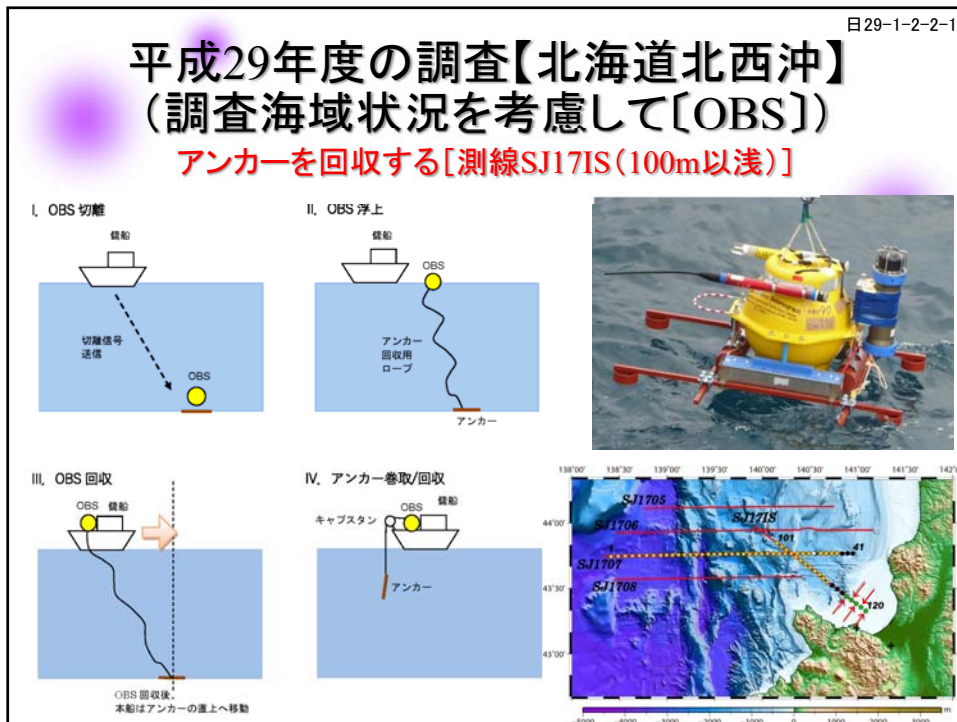
「第一開洋丸」
(海洋エンジニアリング)
OBS回収のみ

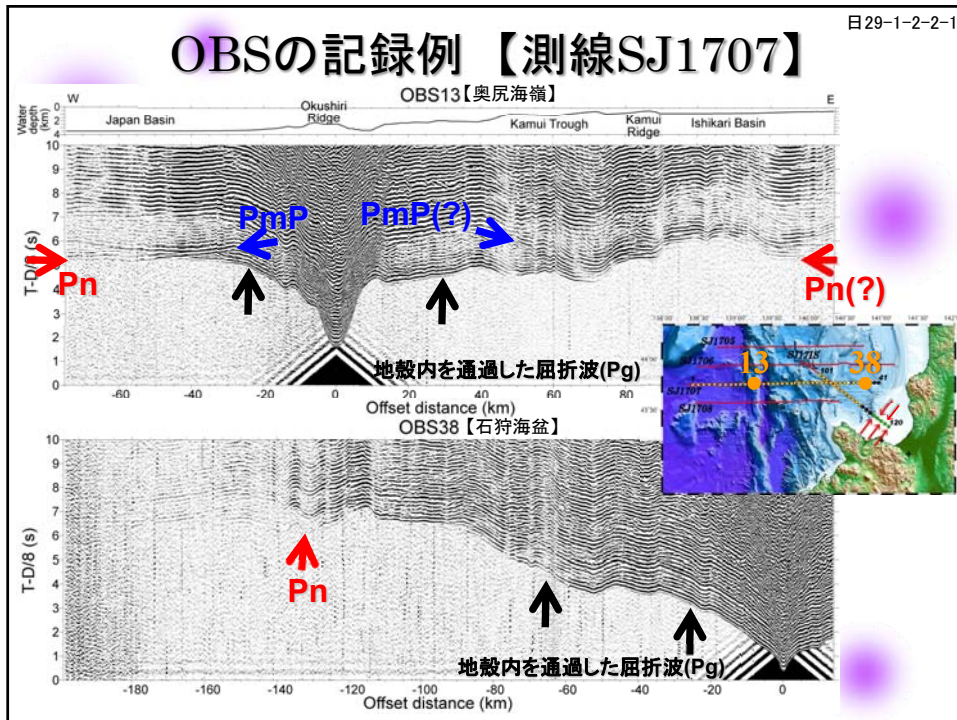
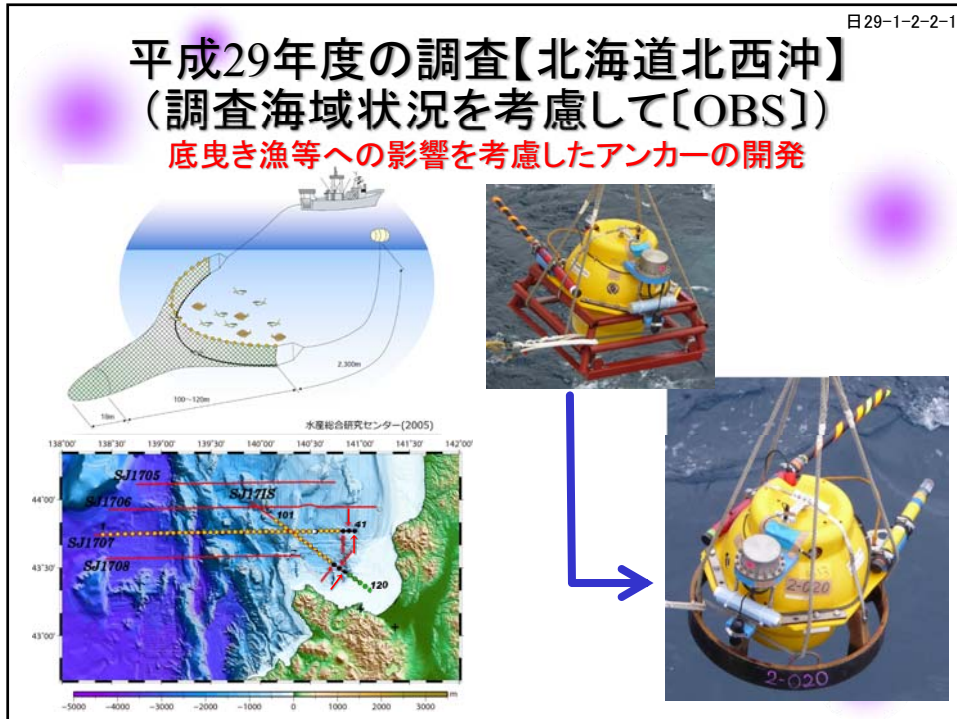
エアガン:本航海での最大
総容量10000cu.in.
[かいめいの約1.35倍]

ストリーマーケーブル:
チャンネル間隔は3.125m
[かいめいの1/4]

第2研究室:調査中にシステム
のオペレーション・データ収
録・データQC等を行う。

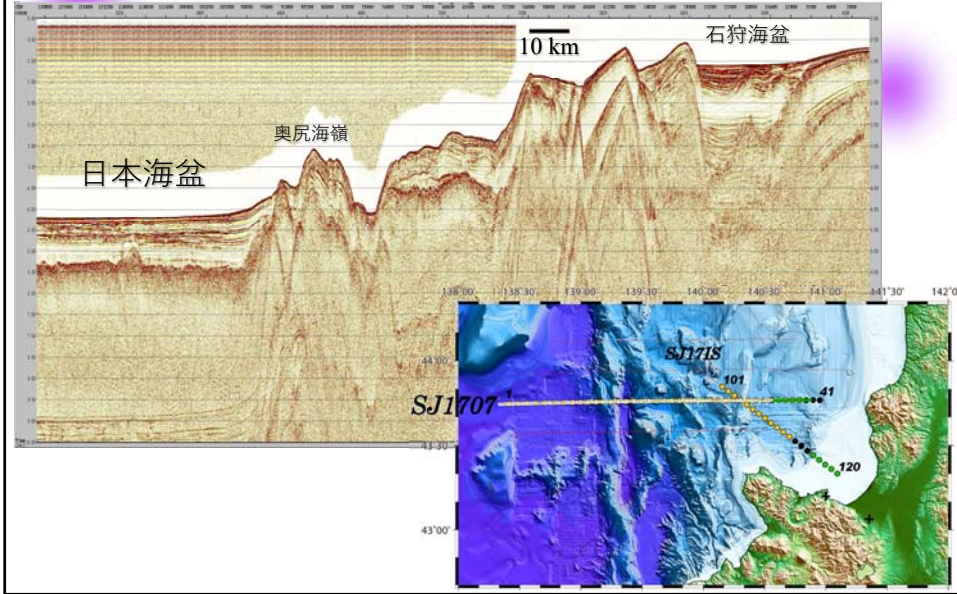






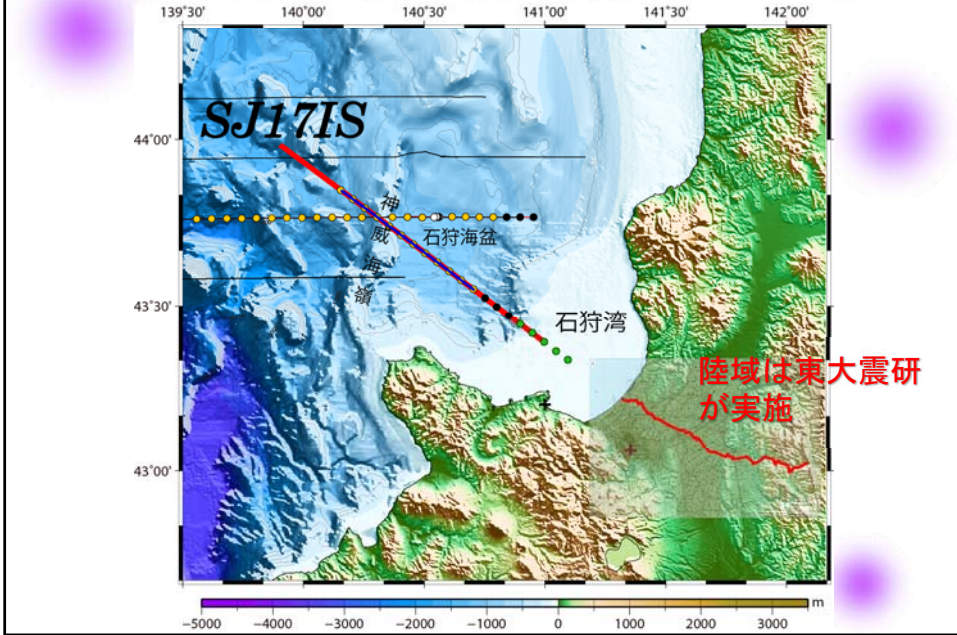
日29-1-2-2-1

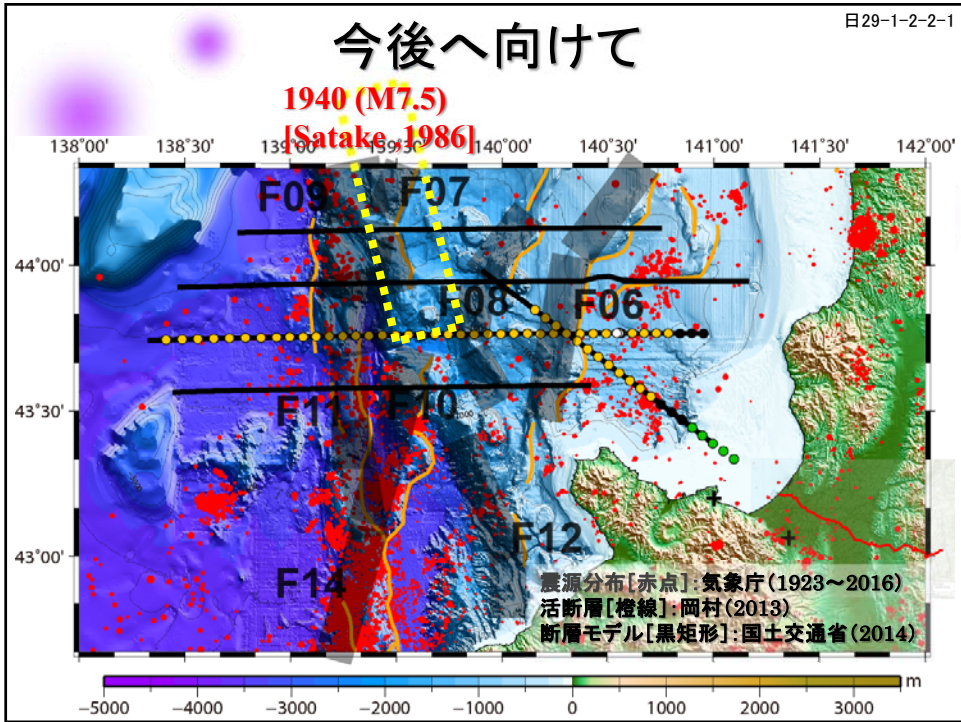
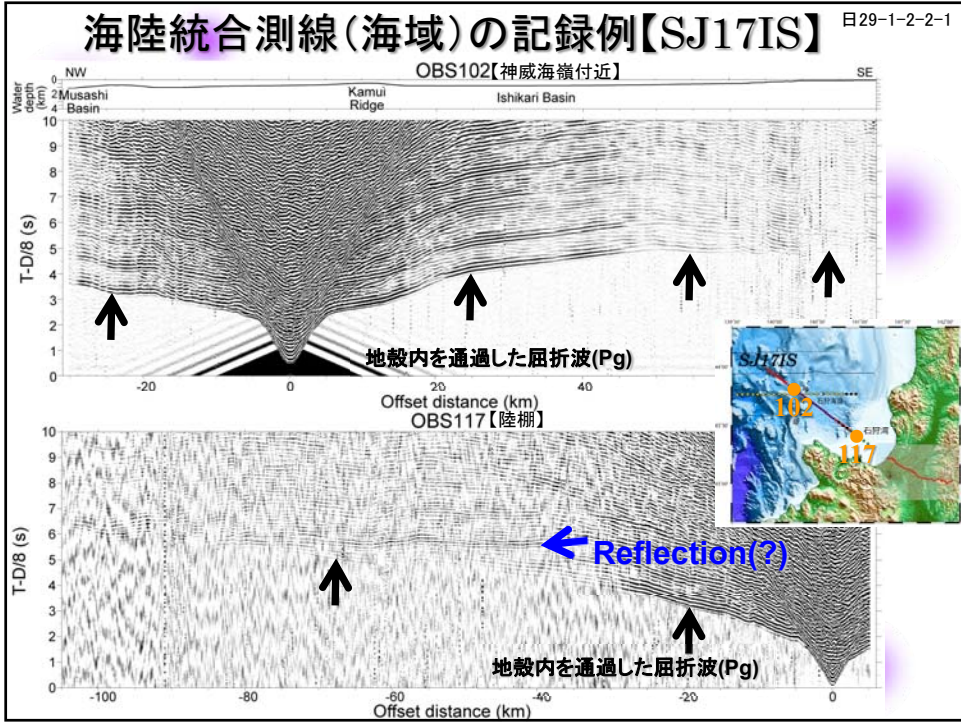
船上処理結果【測線SJ1707】(Stack断面)



日29-1-2-2-1

海陸統合探査測線(海域)【測線SJ1715】





まとめ

➤ MCS探査(沖合構造探査・沿岸調査・海陸統合探査)

✓北海道北西沖の海域において、当機構の海底広域研究船「かいめい」を用いて、計5測線でデータを取得した。「かいめい」の特性を生かし、漁業活動等に配慮し、ケーブル長を調整しながら調査を実施した。

➤ OBS探査(沖合構造探査・海陸統合探査)

✓漁業活動を考慮し、OBSのタイプを適宜変更ながら2測線に計60台のOBSを設置して、地震探査を実施した。

→今後、データ解析を進めて、調査海域の地殻構造を明らかにし、調査海域の断層や地震活動との関係の研究を進める。